

## 指標の修正箇所

※事業や指標の内容については、今後、精査・調整の上、修正することがあります。

### OP. 21 (1) いのちの教育・心の教育の推進【視点4】

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
道徳教育の充実、福祉教育の充実	生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の社会性、人間性を育むために、問題解決的、体験的な学習や家庭・地域と連携した学習等、多様な道徳科の授業を推進します。また、自他のよさや、互いに支え合い、共に生きることの大切さに気付くことのできる児童生徒を育むために、体験的な学びを重視した福祉教育を推進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市生活・学習意識調査で、「自分にはよいところがあります」と回答した児童(小6)の割合(%)	80	指標	75 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	75 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	75 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	75 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	75 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定
新潟市生活・学習意識調査で、「自分にはよいところがあります」と回答した生徒(中3)の割合(%)	72	指標	70 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	70 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	70 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	70 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	70 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定
新潟市生活・学習意識調査で、「友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。」と回答した児童(小6)の割合(%)	96.5	指標	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定
新潟市生活・学習意識調査で、「友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。」と回答した生徒(中3)の割合(%)	96.5	指標	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	80 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)	98	指標	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)	95	指標	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	90 前年度の実績を踏まえて 毎年度設定

### OP. 22 (3) 体験活動の充実

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
優れた音楽・芸術に触れる機会の提供	本物の舞台芸術鑑賞の機会や優れた音楽・文化芸術に触れる機会の提供を行います。児童生徒の豊かな想像力や思考力を養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的とします。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
優れた音楽・芸術に触れる機会の提供(回) 学校に対する優れた音楽・芸術に触れる機会の提供回数(回)	2	指標	2	2	2	2	2

OP. 24 (6) 青少年の健全育成の推進

●事業1(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
若者支援事業	新潟市若者支援センターで相談・居場所・事業の3本柱を通して、若者の社会的自立・職業的自立に向け、若者が自分に自信を持ち社会性を身に付け、夢や目標に向かって動き出すことを支援する。また、若者支援センター及び地域で活躍できる若者支援者を養成する。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
継続支援終了者の割合(%)	35	指標	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
若者支援者養成講座修了者(延べ人数) 若者支援者養成研修会参加者数(人)	231 84	指標	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る

OP. 28 (3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の推進【視点1】

●事業4(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
ICT機器を活用した学習活動の充実	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを活用した学習活動の充実を図ることを通して、「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力等を育成します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「新潟市の学校教育」実践状況調査において、「児童生徒が情報活用能力を育むために、ICTを活用した授業を実践していますか」の項目について、肯定的な回答をした小中学校の割合(%)	年度末に記入算出中 H30参考 95.7	指標	100	100	100	100	100
「新潟市の学校教育」実践状況調査において、「児童生徒の情報モラルが向上する授業を実践していますか」の項目について、肯定的な回答をした小中学校の割合(%)	年度末に記入算出中 H30参考 95.7	指標	100	100	100	100	100
「新潟市の学校教育」実践状況調査において、「ICTを効果的に活用し、児童生徒が学び合う協働学習や課題解決型の授業を実践していますか」の項目について、肯定的な回答をした小中学校の割合(%)	年度末に記入算出中 H30参考 93.3	指標	100	100	100	100	100

OP. 29 (4) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業	現代社会における様々な問題を、自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組むことで、持続可能な社会づくりに必要な価値観や資質・能力を育成するため、ESDの推進を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ESDを自校の教育計画に位置付けている学校の割合(%)	90	指標	90	90 前年度を上回る	90 前年度を上回る	90 前年度を上回る	90 100

## OP. 29 (4) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

### ●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
環境学習の充実	児童生徒が身近な社会や生活の中で、目的や課題を設定し、問題解決を行っていく中で、多様な他者と協働して生きていく力を育成するための学習を充実させるため、環境学習についての充実に図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「地域の特色を活かした環境学習支援事業」を推進する学校(学校数) (延べ数※毎年新規校を含む)	9	指標	9	9 18	9 27	9 36	9 45
「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を推進する学校(学校数) (延べ数※毎年新規校を含む)	8	指標	8	8 16	8 24	8 32	8 40
教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)	1	指標	1	1	1	1	1

## OP. 30 (1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進【視点3】

### ●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
インクルーシブ教育システム構築の推進事業	地域において通常学級、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校等の学びの場の整備・充実に努める。障がいのある子どもについて、個別の教育支援計画作成を通して個々のニーズを把握していくことにより「合理的配慮」の提供に努め、人的支援を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
看護師と支援員の配置 必要と認める看護師と支援員数に対する配置の割合(%)	90	指標	90	90	90	90	90